

# 令和6年度 学校運営等に関する評価書

学校名	和歌山市立藤戸台小学校
作成日	令和7年3月7日

## 1 教育目標

自分の成長を感じる子供の育成

## 2 学校自己評価についてのご意見

	確かな学力の向上	豊かな心の育成	健やかな体の育成	地域とともにある学校
指標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全国学調、県学習到達度調査で正答率が全国や県平均を上回る</li> <li>・基礎学力の定着に係る評価(90%)</li> <li>・わかりやすい授業、子供主体の授業の実践(児童・教師90%)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校が楽しいと感じる(90%)・情報モラルに関する研修が実施できたか</li> <li>・いじめをなくす学校・学級づくりに係る取組(90%)</li> <li>・いじめの解消率(100%)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・早寝・早起き・朝ごはんの実行(90%)</li> <li>・安全確保・健康管理(90%)</li> <li>・キッズ・サポートの実施</li> <li>・栄養教諭による食に関する指導訪問の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育活動の伝達(80%)</li> <li>・家庭・地域との連携・協力(80%)</li> <li>・ホームページの更新を年間35回以上行う</li> <li>・和歌山大学の見学や教育ボランティア・教育実習の受け入れができたか</li> </ul>
重点目標に対する	<ul style="list-style-type: none"> <li>○今後も基礎学力の定着を図る取組とわかりやすい授業、子供主体の授業の実施に取り組んでいただきたい。</li> <li>○重点目標にされている授業や学習を定着されるよう取り組んで頂きたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○今後もいじめを許さない学級・学校づくりに取り組んでいただきたい。</li> <li>○仲間を大切にすることや、仲間をつくりする取り組みを今後も実施していただきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○早寝・早起き・朝ごはんの取組については、生活リズムを作るために必要であるため、今後も引き続き取り組んでいただきたい。</li> <li>○学力向上とともに、体力づくりにも取り組んでいただきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○和歌山大学とも近いことから、小学・大学の交流が深められる環境は、他の学校ではできない魅力性もあり、より一層の活動が期待できる。</li> <li>○地域の人材の活用した取り組みを実践し、子どもならびに地域育成にも貢献していただきたい。</li> </ul>
取組状況に対する	<ul style="list-style-type: none"> <li>○各教員が若いながらも工夫して授業に取り組んでいると感じた。特にICTを使う授業が増えていて驚いた。</li> <li>○わかりやすい授業推進のため、英語を取り組む環境として、English roomを設置している点は素晴らしい。</li> <li>○フォローアップの時間は充実しているのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○もっと保護者と子供を巻き込むでは？例えば、いじめ防止週間を、保護者にも周知するなどして、ご家庭でもいじめについて話し合ってもらうなどの取組があればよいと思う。</li> <li>○いじめをなくす学校学級づくりの一環として、教室での様々な工夫や環境づくりができています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○児童数が多く、避難訓練や運動に関しては大変であるが、安全な学校であるための取組をこれからも続けてもらいたい。</li> <li>○高学年への食育指導の充実化を図っていただきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域がある意味特殊で、連携や町探検も難しいが、大学をもっと有効活用できれば良いと感じた。教育学部だけでなく、観光や経済学部などを活用しては。</li> <li>○今後も学校の様子が分かるようにホームページの更新やおたよりなどで、情報を紹介していただきたい。</li> </ul>
取組の適切さの検証結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>○適切な検証結果だと思う。ただ、基礎学力定着の取組にもっとICTをいれればどうか。</li> <li>○教科専門の先生が増えたことにより、子供の興味関心が高まっているように思う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○適切な検証結果だと思う。</li> <li>○いじめの早期発見、解決(100%)が出来ているのは素晴らしいと感じた。</li> <li>○いじめアンケートの実施等、取り組んでいる内容を保護者にも伝えてみてはどうか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○適切な検証結果だと思う。</li> <li>○学校アンケートの「給食時間が楽しい(楽しみ)」という項目で8~9割が肯定的であり、朝食はもちろんのこと食に関する指導が行き届いていると考えられる。</li> <li>○体育や体を動かす遊びなどで、高学年と低学年が交流する機会を増やしてはどうか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○適切な検証結果だと思う。</li> <li>○今後も家庭、地域との連携協力を努めていただきたい。</li> </ul>
改善年度方法に向けての意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>○大規模の利点を生かした授業改善に期待する。浮きこぼれている児童も見受けられるので、学力上位層への手立ても必要かもしれない。</li> <li>○自主的な学習習慣の定着をお願いします。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学校アンケートの「挨拶ができる」では、児童・保護者とも他の項目と比べると若干低くはあるが、我々大人が挨拶するように働きかけたい。</li> <li>○挨拶をしっかりと出来る子どもが増える様な取り組みを思索する時期に来ているのではないか。</li> <li>○情報モラル等を学ぶ講演会は参観日など保護者が集まる機会に実施するのはどうか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○危機管理マニュアルの作成や見直し、避難訓練や交通安全教室を通して、危機回避能力を高めていただきたい。</li> <li>○コロナ禍の影響で、体力の低下が気になるので、学力と併せて体力の向上にも努めていただきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ホームページの更新が頻繁になったとのことは素晴らしいぜひ続けていただきたい。</li> <li>○和歌山大学との交流を積極的に取り組んでいただきたい。</li> </ul>

## 3 その他のご意見